夕刊 常磐毎日
発行所 平市田町75
常磐毎日新聞社
電話1210
編集兼印刷発行人 吉田甫

ベースアップに備え
失對の八時間就勞强化

今月中旬から来月初旬にかけて失対事業に従事する労務者に対してベースアップが予想されているが、平職安所ではこれを機会にとかく無統制に走る管内労務者及び事業主体に対して、所定の八時間労働実施を强力に指導推進することになり、近日中に失対事務所、平、内郷、湯本、好間など関係各所と協議、具体策を練ることになった

石城の特殊性を
どう裁くか注目される

八時間就労は失対事業従事労務者の原則でもあるが、石城地区はその特殊事情などもあり統一されず甚しいところでは就労時間僅か二時間足らずというところもあり、それが最近では常道化さいしている。これらの対策については歩引手段その他の方法で処理しているが

去る七月十六日に発生した平市上荒川地内の道路改修現場の歩引騒動などの例のように、その都度激しい労務者攻勢を引起し、結果は現場の紛争をかもし出すだけで効果は挙ってない、「安い賃金に十分な労働はやっている」と主張する労務者に対して

は自ら激しい労働功勢の突破口を作る結果になることは明らかだが

ベースアップを機に当局がこれらの労働事情をどう裁くかは注目される

就労時間が
全く統一を欠く

現在平職安所管内で登録労務者は二千九百名、毎日二千四百名程度が管内の事業現場に就労していることになるが、そのほとんど半数を占める内郷及び好間の自由労組が問題の焦点になっている。内郷の労務者は約一千百名、数ケ所の現場に分散して就労しているが就労時間は九時から十一時ころまでのおよそ二時間ほどで、特に最近は甚だしく短縮されているという「上荒川歩引問題」もその因で発生、またこの中には職安紹介そっちのけ印鑑を偽造して自分のすきな作業場に行っていたという愚質者もおり、失対工事就労時間に対する厳正な批判がなされている

日雇にも
二番方がある

内郷労務者の中ではこの短時間労働の生んだ「二番方」なる仕事がはやっているという、即ち失対を午前中で切り上げて午後は個人契約による別なところで働いているのだそうだ

これらについて平職安では「原則としては認められない「小廻り」という仕事の割り振りで現在のところ黙認している」と語っているが

連絡不充分な現場で少い監督員では認めざるを得ない現状にあるというのが真実らしい

逆コースの
就労者もある

なおこの内郷労組には、これらと全く反対な逆コースの就労風景もある内郷一中の校庭整地に就労する労組員は毎日没まで働いている、それは「此処は吾々との子弟を祀しているところであり平和事業である、秋の運動会までは完成してやらればならない」からという親心からの発露で関係者から感謝されている

佐藤平職安所長談
労務者の就ろう振りについては

とかくの不評がある、各町村からも苦情も多い、現在問題は内郷組だがベースアップの考慮されているときでもあり、これを完全な八時間ろう働実施に立て直すよう努力する

学校給食研究會
九日赤井一小で開く

学童の健康維持のため行っている学校給食をもっと栄養価のあるものにするため、教委石城出張所では九日午前九時から赤井第一小学校講堂に教育委員、学校長、給食関係者、PTA、教育長、その他関係者を招いて学校給食研究協議会を開く

講師には県教委体育課長細川昌男、学校給食連合会理事高橋丈夫、山田亥吉の諸氏

梨の規格講習

県農政課主催の梨規格講習会は赤井村農業協同組合（又は梨園）で開く、講師は農政課の技師が担る予定

湯本公民館
電話の懇談会

湯本町公民館農業部では十一日午後七時から同館会議室に加藤湯本電話局長を招き、現在四十八名の電話桔梗希望者があるので、電話布設についての懇談会を開いて、促進方を要請するとともに町産業発展のため懇談する

湯本町の
衛生区長懇談会

湯本町公民館厚生部主催の衛生区長懇談会は五日午後六時から同館で開き、町内美化清掃、厚生事業計画について協議する

學校荒しが頻々
内郷一中またも襲わる

二十八日午後十二時ころ学校荒しにあった内郷一中では、二十九日午後八時ころから三十一日午前九時までの間に再び賊が侵入して同校事務室の本箱の小引出しから平専門店七月発行のチケット七册（B七〇〇三―三七）を窃取した挙句、二階校舎東側の特別教室（生徒集会所）の降し錠をこじあけようとローソクとマッチの燈火で裁ちバサミを使用錠の先端が約一寸位折れている点からみて同一犯人の仕業ではないかとみられている

年金証書を
列車でスラる

二日午後二時ころ常磐線上り上野行二二八列車に乗車中の湯本町大字湯本字三函二三〇無職富永賢三さん宅四は湯本、磯原間で額面五万円の遺族年金証書をスられ平鉄道公安室に届出た

火薬業者会議

石城地方事務所経済課では十八日午前十時火薬関係者会議を同所で開く

昨今の話題

三年越し騒がれている鹿島村の合併問題は、去る十九日の村会協議会が九対五で小名浜合併論を打出してから表面化し、活発化して来たようである。三百七十戸人口二千三百五十余名の貧農村にとっては、何れどちらかに統合させられる運命にあることは必然だが、さていざ身売りするとなると、幾らかでも割のいい方に行きたいというのが人情であろう

この割の良さの程度に問題がある

◆村民の福利のために

◆将来の発展のためにの大項は

カシマシイ合併問題
鹿島村民の反省を促す

さておき、さし当たり風当りのいいサービスのよい方に心が動くのは人情のキビというか?、このキビにつけ込んで、小名浜と湯本は早くから合併運動を展開して、港間の噂では、小名浜はこの合併運動に百八十万円の予算を持っているとか、既に使ったとか、湯本は三十万円しか使わないから運動がはかばかしくないとか、どうとか色々デマが乱飛んでいるようだが、

これに巻き込まれてか、村民の与論は真二ツにわれて騒ぎたてられている、ここまで来れば余りに感情的になり過ぎて理屈抜きでお互いに堅意地になって反対しているようで見苦るしい

かつて只見川電源開発問題で本流、分流の両案に分れて争ったことと相似たものが、何処かにあるようだ、「只呑み川」と愚口をいわれた程、新潟県などでは、ハデな運動費をバラまき意地になって本県案に反対した、あの時の様相と、鹿島の合併とが悲しいかな似て非なるものがあるようだ

四日にはこのために村会が開らかれるというが、この村会の結論が最後案ではないにしても大勢が決せられるものとして成行が注目されている、「合併促進法案では、部落民の総意によって決定される」とはっきり明示してあるので、村会が決定づけても、最後は部落民の意をくみとって終止符を打つ事になるようだ、もしそうだとすると村会の権威の上からも、将来の発展の上からも、今度の村会では結論を出さない方が賢明の策というものだとの声が村議間にあり、話合程度に終る公算が多い

事実、問題がここまでもつれてしまっては、双方しっくりと話合って、村会での結論を避けて、裁断を県当局にお任せする方がむしろ解決の道が早いというものであろう、先づ指導者も村民も静かに冷静さを取り戻して、もう一度どちらと合併したら方がどんな利と将来の発展とにプラスされるか、具体的に採りあげて三省四省すべきであろう

（Y生）

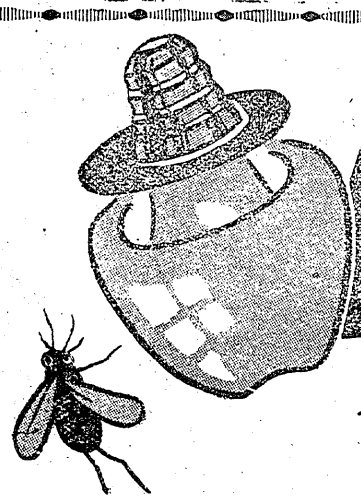
松崎稲荷例祭

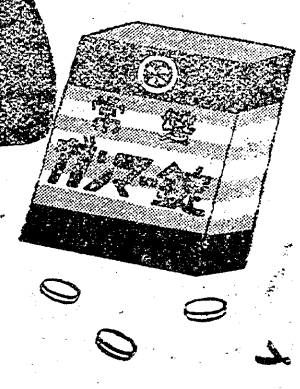
市内柳町の松崎稲例祭は三日行われる、余興として第二小校庭で午後六時から映画会を催す、上演映画は、母のひとみ、花嫁花婿、タ

味が春板
たいら食堂
公会堂通り

カネボウ毛系
特約店
三井呉服店

蚊帳のいらない
ガンマー錠
常磐製薬の殺虫用ガンマー錠





むし暑い真夏に　ハイや蚊のいない文化生活には是非ガンマーランプを……

製造元 常磐製薬
発売元 中村滝商店

ガンマー錠が更に良くなりました

ガンマー錠の殺虫力に就いては既に各位の御賞賛を得て愛用願って居るところでありますが更に

▼燻蒸時間が長すぎる〔一時間二十分〕
▼鼻をつく悪臭が有る
▼殺虫ランプのミゾに黒色の汚物が残る

と言った欠点の除去が要請されて居ったのでありましたが当社苦心研究の結果高貴薬品の配合に依り殺虫効力に変化なく解決がつきました

一、燻蒸時間が短縮された。
スタンド使用の場合二〇分―三〇分
普通の場合　四〇分―五〇分
害虫（ハイ、蚊、のみ、其の他）はガンマー錠のガスに接触しただけで死滅するものです。仮りに燻蒸が終っても生きていたり、他方へ飛び出しても、間もなく何処かで死滅します。蚊とり線香の様に蚊、ハイを追ひ払うだけなら長時間使用も心要でしようが、ガンマー錠のガスが虫体に接触したたけで害虫が全滅するのでありますから、夏期の部屋を閉切っての燻蒸でもあり短時間ですませる事は理想的であります。しかも燻蒸後はガンマーの気化によって生ずるヒルムに依り二、三日は有効であります

二、芳香を適当に加味した
S、B、H、C特有の悪臭を高価な香料の配剤に依って、燻蒸中同室して居っても不快感を起させないようにしました

三、殺虫ランプのミゾに黒色の炭化物が残らない
気化しない従来の賦形薬を止めて全部ガス体となって気散する高価な錠剤安定薬品と配剤したので残り物は全然ない。

右の様に高価な香料と安定剤とを少量配合したのみにて他は全部純ガンマーであります。錠剤はクリーム色になって居りますが殺虫効力に絶対変化は御座いません。現にドイツ製品も斯様な色と香とを持って居ります。何卒弊社苦心のサービスを御くみ取り下さいまして精々御使用の程願上げます

兄を薪棒で毆殺

炭焼小屋を血に染める

入遠野村大字入遠野字東山木炭焼夫平子伝(三四)は二日午後一時三十分ころ鮭輪村目渡地内山中の木炭焼場で兄正守(三四)さんを殴り殺した、と同日午後六時三十分ころ入遠野村巡査駐在所に自首した急報を受けた植田地区署では玉川署長らが同日午後八時ころ現場に急行、現場検証を行うとともに、平子伝を殺人容疑で逮捕取調べている

仕事上から口論

薪棒を奪つて滅多打ち

平子伝は同日午前八時ころ実父重エ門さん(六)と兄正守さん(三四)の三人で鮭輪村目渡地内の炭焼場に行き作業していたが、同日午後一時半ころ仕事上のことから兄正守さんと口論、兄が手頃な薪棒で伝の腰部を殴りつけたことに憤慨、兄の持つて居た薪棒を奪い返して反対に頭部を数回殴りつけたもので

近所に仕事をしていた重エ門さんがこの騒ぎを聞きつけて飛び出して来たときには、正守さんは頭がい骨陥没で即死していたと言うもの

殺された兄は腹違いの義兄

殺された兄正守さんは終戦後精神に異状を呈し一昨年には郡山の精神病院に入院したが治らず、七ケ月で帰宅、妻も当時あきらめて離婚、とかく「やつかい者」扱いされ、時折喧嘩騒ぎが起きていたといわれる

なお正守さんは伝とは腹違いの義兄弟であることなどから或は「気狂いと腹違い」の兄を除げ者にしようとする一連の計画的な犯行も密んでいたのではないか?という疑いもあり、取調べの進展が注目されている

実父の談話

殺人現場に居合せた実父重エ門さんは「子供達とは少し離れたところで仕事をして居たので、喧嘩騒ぎに気づいて飛び出して行つたときには正守は既に死んで居た、親の口からいうのもおかしな話だが弟の伝は大工の見習に行つて居たころから信用の厚い子供でした、カツとしたはずみでやつたのだとは思うが、トンデモないことをしてくれた」と語り「現場の細かな事情は離れていたから解らない」といつている

(写真は(上)殺された兄正守さんと(下)殺した弟伝)

四倉の強盗検挙

四倉警部派出所では二日四倉町仲町一七六漁船機関助手川崎藤(三三)を強盗容疑で検挙した、川崎は去る八月十二日夜午後八時三十分頃同町仲町農業小湊恒さん方に覆面して押し入り同家に同居就寝中の同町新町一〇七工鈴木勝夫さん(四)こに鉄棒及びナイフを突き付け逃げると殺すぞと脅迫、同氏の顔面をなぐり所持していた一〇型腕時計一ケ時価三千円相当を強奪した容疑者である

湯本に強盗

湯本町水野谷字龍ケ沢宮沢正次郎(四〇)方のガラス窓をこじあけて、二日午前零時半ころ賊が侵入、寝ていた宮沢さんをたゝき起し懐中電燈で顔を照らし、右手に拳銃ようの兇器を突きつけて「金を出せ」とおどかし、宮沢さんが「これしかない」と百五十円を出すと、それを奪つて侵入口から逃走した

湯本地区署で犯人捜査中たが、白布で覆面しネズミ色のジャンパー、黒ズボンをはき、年齢、人相ハツキリしない

晩秋蚕の掃立量を決定

晩々秋蚕の掃立目標は二日午後一時から農業会館で開かれた養蚕組合協議会の席上三千三十グラム(生蚕二千貫)と決定した

この掃立による石城の二十八年度生蚕出荷は三万九千三百五十貫(春一二、三五〇貫、初秋一、〇〇〇貫)(晩秋一四、〇〇〇貫、晩々秋二、〇〇〇貫)で春蚕掃立当時たてた目標六万貫を四割の二万一千貫を下廻る不成績だつた

この不成績は春の霜害と初秋の冷害によるためで養蚕には相当の被害をあたえた

内郷青年学級

内郷町宮青年学級では次の行事を宮小校で催す、(いずれも午後六時から)

▽五日レコード鑑賞会▽十二、二十六日民法の講義、講師は草野四郎氏▽二十日宮小校運動会とタイアップして秋季大運動会を実施

獅子舞のコンクール

郡公連が中心で計画中

秋の彼岸(九月二十日)には赤井岳薬師の出開張と衰微の一途をたどる文化財保存愛護の意味からもシシ舞(ざゝら)のコンクールを催そうという計画が関係者の間で進められている

シシ舞は当地方にも古くから伝わる古代文化の一つでありその形式、舞及びそれに伴う因習なども様々に伝わつているが、戦争その他の影響で余り振わず、戦後もジャンガラ、盆踊りなどの華しい復活に比べると全く振わなかつたもので

僅かに鎮守祭りなどで古式を伝えている有様で、知る人も少くなつている。獅子舞のコンクールについては市商工課、公民館などが中心となつて具体案を進めているが古代文化の保存と認識を深めるためにもその実現は望まれている

内郷の八月定例町會

國有林台風も無事通過

内郷町八月定例町議会は三十一日から会期三日の予定で、町役場議事堂でひらき、先づ沼田町長の政務報告があつて一般質問に入り、野党議員による鋭い質問が町当局に浴せ、答弁に苦しむ町当局をかもし出して騒場騒然たるものがあつて休議となり午後に入つて質問戦を打切り提案された七議案の審議に入り、三十二議案の専決処分について承認を求めるの件の第一項国有林払下げの件で、長期間にわたつて町内の批判を浴びた問題だけに、吉田、斎藤の両町議から六、〇〇〇万(円)の件、寄附受納願の件、二十八年度内の件、二十八年度における朝末宮沢地内排水溝、金坂橋改修の諸工事)、二十八年度才入才出追加更正予算(二十一万七千余円)などを審議した結果、原案通り可決した、引続き町内から

▼御台境字御台部落の水道施設は採択

▼御台境字鬼越、小島、御厩字下宿の各部落の水道施設は否決

▼高坂部落内の特定郵便局設置並に公衆電話機設置は採択保留

▼高坂小校通学道路、校舎の改修案は採択保留となり、更に建議案として白水地内に町立公園の設置、宮代部落より新県道に通ずる町道建設が提案され、公園問題は予算の関係上採択保留町道建設は否決となり午後四時ころ閉会した

で採択

▼御台境字御台部落の水道施設は採択

▼高坂小校通学道路、校舎の改修案は採択保留となり、更に建議案として白水地内に町立公園の設置、宮代部落より新県道に通ずる町道建設が提案され、公園問題は予算の関係上採択保留町道建設は否決となり午後四時ころ閉会した

指名競争入札で白水校便所新築、同校庭拡張、御厩校長住宅工事は県に促進方陳情することと

常炭連で

廿日臨時大会

常炭連では二十日午前十時三十分から炭労会館にて臨時大会を開き形式、舞及びそれに伴う因習なども様々に伝わつているが、戦争その他の影響で余り振わず、戦後もジャンガラ、盆踊りなどの華しい復活に比べると全く振わなかつたもので

僅かに鎮守祭りなどで古式を伝えている有様で、知る人も少くなつている。獅子舞のコンクールについては市商工課、公民館などが中心となつて具体案を進めているが古代文化の保存と認識を深めるためにもその実現は望まれている

内郷公民館

運審委員会

内郷町公民館運営審議委員会は八日午後一時から同館で開らき、八月行事報告後九月行事について審議する

梨立木の品評会

経済連石城支所と石城地方事務所改良課では三十一日石城梨の立木品評会を行つたが入評者は次の通り決定した、品評会の対照になつたのは「長十郎」種だけ

①稲本キヨノ(平窪)②矢野清市(赤井)佐藤信司(赤井)③金成義雄(好間)丹人武男(赤井)松崎昌平(平窪)努力賞佐久間助(好間)

労炭病院で

敷地買収懇談会

労炭病院土地委員会では敷地売収賃金闘争の方針を決定する賃金闘争の時期は秋季労働攻勢の一環として十月ころから行われるものと見られるが臨時大会で決められる要求賃金ベース案などについては五日午後一時から炭労会館で開かれる調査部長会議で決める

宮川橋復旧工事

橋台が腐朽し崩壊寸前にあり交通不通となつている内郷町内町金坂地内の宮川橋復旧工事は、予算十一万三千円で二日から一週間の予定で着手することになり、部落民から完成が待たれている

なお町当局では宮川橋から高橋地内に至る堤防道路にトラック十二台の砂利を敷き臨時処置を兼ねて行われる

問題で難行を続けていたが、このほど円満解決したので三日午後五時から内郷館に地主二十三名を招いて懇談会を開く

湯本クララ会

湯本町文学サークルクララ会では十三日午後二時から同町公民館で石川啄木の「人と作品」についての鑑賞会を開く

日曹炭礦で

主婦の会結成

赤井村日曹赤井炭鉱に務めている夫を持つおかみさん連四百名は三日炭鉱広場で主婦の会を結成した

大谷石　木炭
平五
井上
電六六番

消防士志願者募集
▼資格　年令二十才から三十才未満の男子で町内居住者に限る
▼学歴　新制高校卒業者並びに同等以上の学歴を有するもので、自動車運転免許を有するもの
但し左の該当者は採用しない
一、官公吏に奉職して免職となり満二年を経過しないもの
二、身長は百六十糎未満のもの
三、胸囲は身長の二分の一
四、体重は五十二瓩
五、視力は〇、七以下のもの
六、色盲のもの
なお希望者は八日まで至急履歴書を町役場庶務係に提出すること
昭和二十八年九月三日
内郷町役場

写真に勝る自慢の腕前
菊水画房

季節の紳士服婦人服新調
三幸モード一九五三年型発表
全国一流羅紗会社製品見本
英国各会社製品見本
ギブリンビツカアマン、ムーアブルツク、ジョシユアウイルソン、ハンドウインターム、ロバートウーレン
数千種入荷陳列御高覧を願います
●御手持生地御持参下さい
●厳価入念にお仕立て致します
●電話有次第に参上致します
◆男子服 婦人服 デザインと裁断裁縫
三幸デパート洋服部
主任 渡辺良平
平市三丁目三幸内電五〇六 一三二七

内は神戸生糸問屋の緑屋

衛生婦生徒募集
開始 九月十日 三ケ月卒業
★病院、医院、診療所、派出会等に看護婦補助として活動する
★御希望の方は至急御申込下さい
平准看護婦養成所内
平衛生婦養成所
所長 清野キヨ
電三〇七番

常に新らしいモード!!
紳士服地・婦人服地
各種富豊に取揃え陳列中
◆御注文服受承ります◆
専の店
チケツト御利用下さい
服地専門店
マルエ
平銀座 TEL. 265

◎病室完備
石城郡植田町本町六三
災害保険指定診療所
電話植田二四番
前田医院
産婦人科 前田清美
性病科 前田春雄
外科（胃腸科）
整形外科
レントゲン科

東北・北海道ダービー展開
11時発走
平けいりん
場外
福島・郡山・若松・平
9月345678

看護婦募集
竹林病院
平市字五丁目番八一・六〇八
内科 竹林貞吉
外科 竹林増郎
整形外科 竹林徳二
レントゲン科 山田洋子
理学診療科 永山
医長 中川
医員 永山
薬剤師 永山